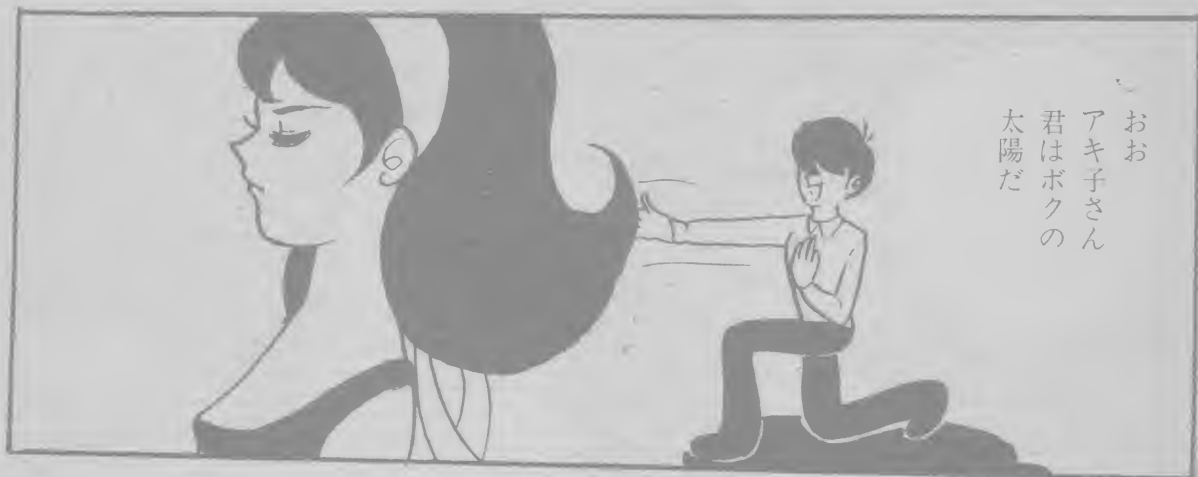
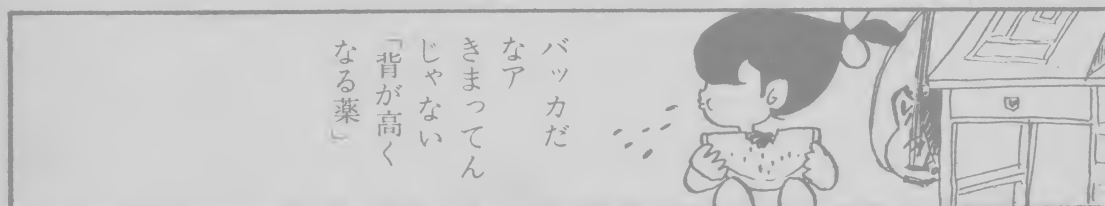
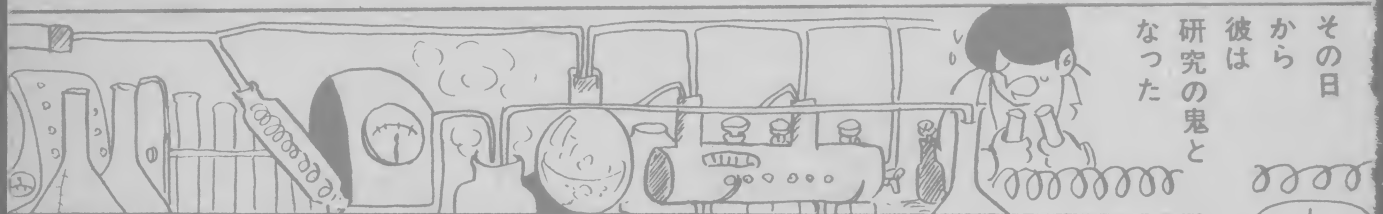


# 風と共に去りぬ

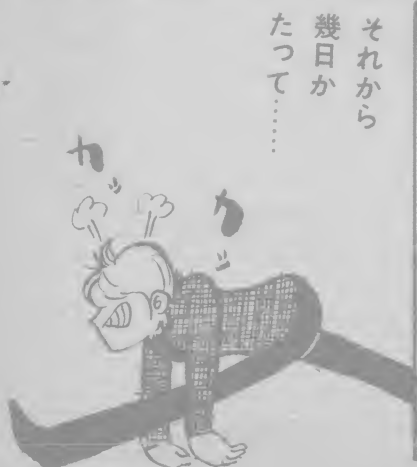
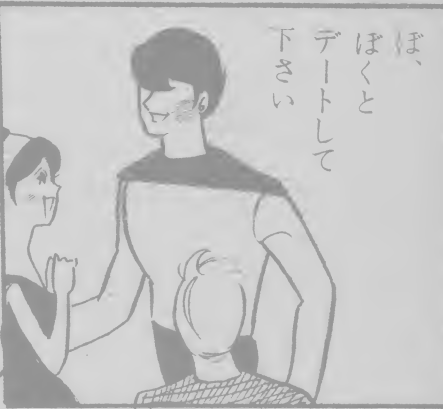
GONE WITH A WIND

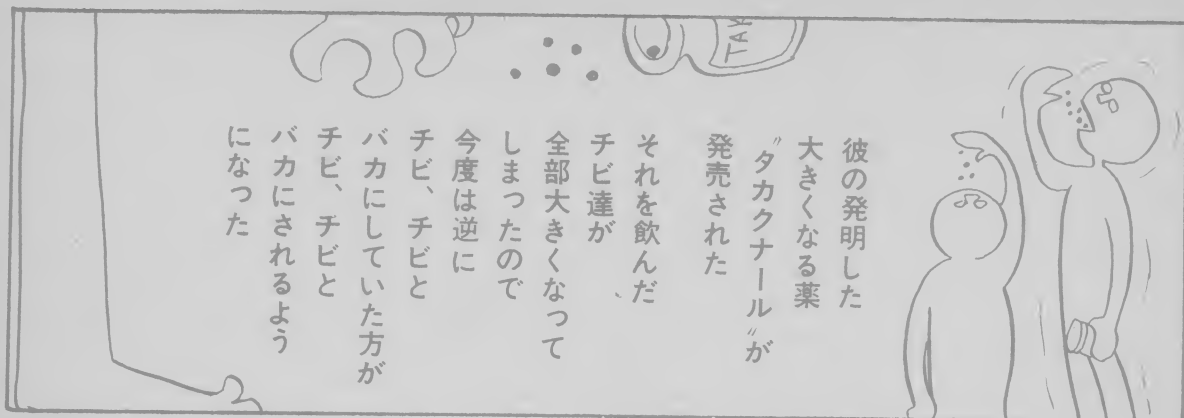




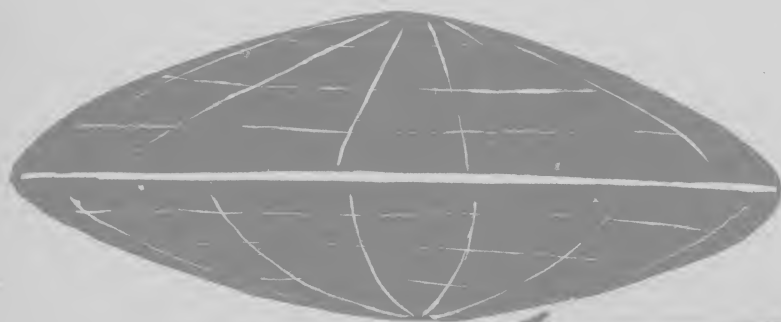
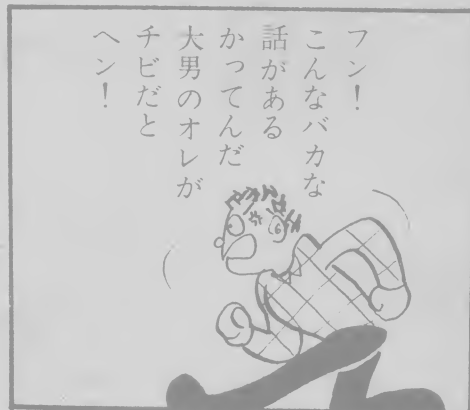


アキ子  
さん



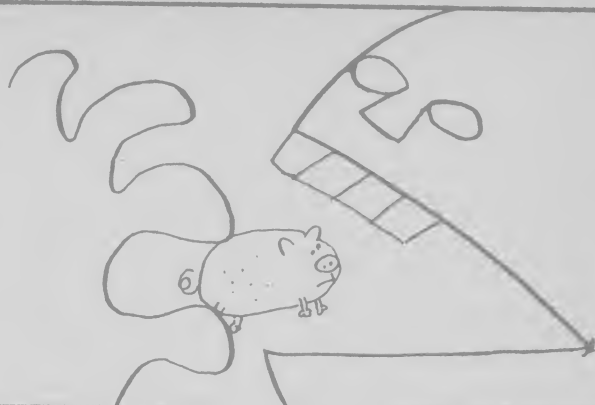


おやじ、タカクナルだ！



こういう  
ふうにして  
人間は  
急速に  
巨人化  
していった  
.....

巨人化した  
人類が  
生きてゆく為には  
莫大な物資が  
必要だった



土地も必要だった

彼らは

いとも簡単に

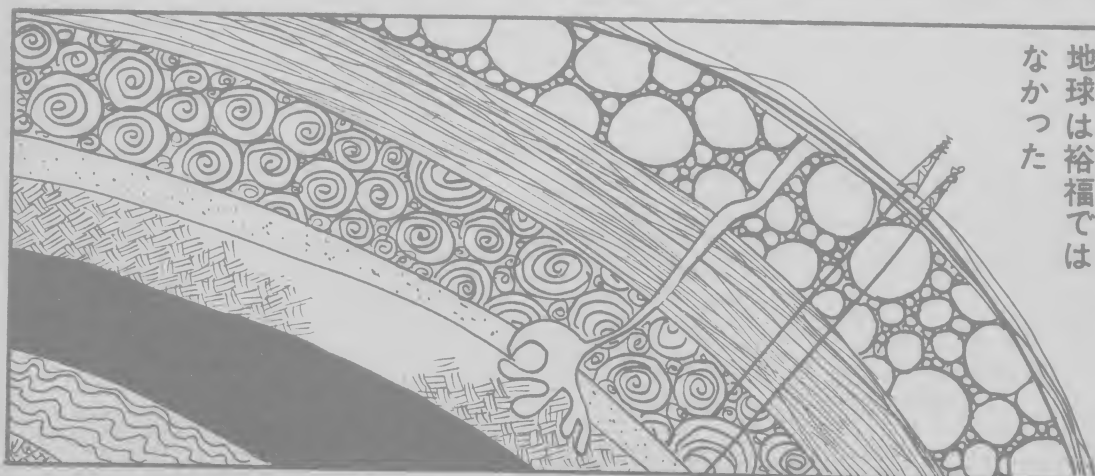
山林を切り開  
いていった



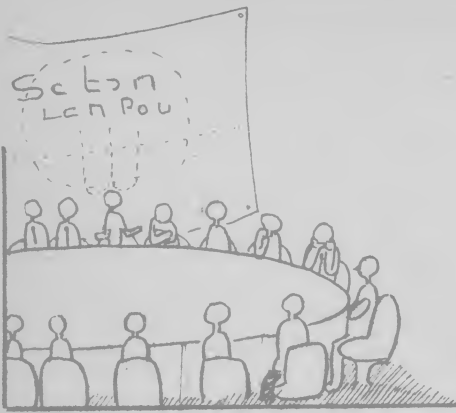
そして  
平和な  
何年かが  
すぎさつて  
いった……



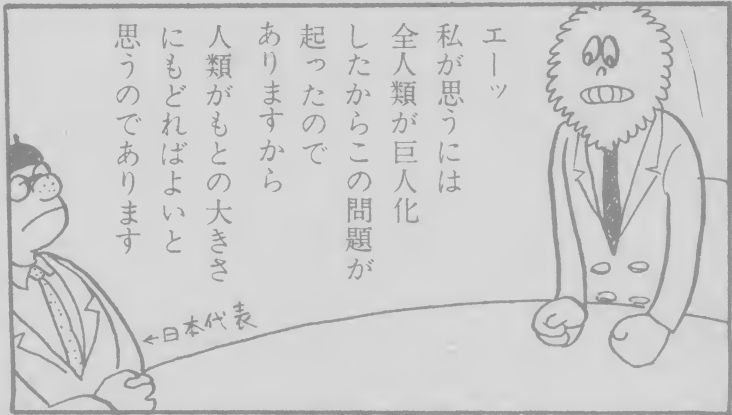
しかし………  
巨人化した人類を養う程  
地球は裕福では  
なかった



世界連邦では  
 稀少な  
 地下資源と  
 それなしでは  
 生きて  
 ゆけない  
 人間との  
 問題に  
 頭をなやました



博士！  
 もとの大きさでも  
 まだ物資不足は  
 さけられません  
 せめてその半分以下  
 つまり五十センチ  
 ぐらいに  
 ならないと……



エーッ  
 私思うには  
 全人類が巨人化  
 したからこの問題が  
 起ったので  
 ありますから  
 人類がもとの大きさ  
 にもどればよいと  
 思うのであります

←日本代表

政府は  
 やむなく  
 この計画を  
 実行した



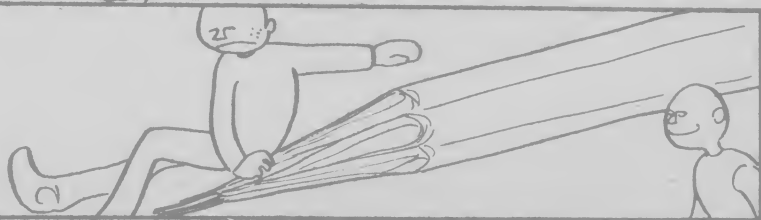
しかし  
 まだまだ  
 物資は  
 不足して  
 いた……



政府は  
 身長  
 二十センチ  
 以下とした  
 そして  
 それ以上の  
 ものは罪せ  
 られた



翌年には  
 十センチ以下  
 の命が出さ  
 れた





その翌年は  
五センチ……  
その翌年は  
二センチ……

ある日 小さな突風が  
地球全土を襲い  
小さな人間達を  
風と共に大気圏外へと  
運び去った……………

—風と共に去りぬ— 終  
1965. 8. 10.

